

コロナ禍の支援者における 「モラル」を考えるシンポジウム -対立と葛藤を越えて-

本シンポジウムではコロナ対応におけるモラル・コンフリクトについての知識を共有し、幅広い学問領域から支援者のメンタルヘルスを考えます

参加費
無料

先着
200名

日時 2022年2月20日 日 14:00～16:00

対象 医療・介護従事者、コロナ禍で支援にあたられている方、
大学教員、研究者の方

申込み 下記URLもしくはQRコードよりお申込みください
<https://forms.gle/VpePBs1vM1VEXvUa8>



総合司会：太刀川 弘和（筑波大学 災害・地域精神医学教授）

第一部：シンポジウム 14：00～15：00

五十嵐 沙千子（筑波大学 哲学思想准教授）

—コロナ禍のコンフリクトやジレンマを、モラル問題から考える

高橋 晶（筑波大学 災害・地域精神医学准教授）

—救援者・支援者のモラルの葛藤とメンタルヘルス

萱間 真美（聖路加国際大学 精神看護学教授）

—コロナ禍で看護職に生じている苦悩と葛藤への支援

井上 孝代（明治学院大学 心理学名誉教授）

—支援現場におけるコンフリクト転換～対話による協働的な意味創成の試み

第二部：総合討論 15：10～16：00

笹原 信一郎（筑波大学 産業精神医学・宇宙医学准教授）

川島 義高（明治大学文学部 心理社会学科 臨床心理学専攻講師）

お問い合わせ

筑波大学 災害・地域精神医学教室

MAIL：dcpsych@md.tsukuba.ac.jp

URL：<https://plaza.umin.ac.jp/~dp2012/index.php>

本講演会は科学研究費基盤研究B「コロナ禍で戦う支援者のモラルを護る心理的支援技術の開発研究」の一環として実施します。